

情報を吟味すること

病院長 小 阪 真 二

アメリカ大統領選も終わったようです。例年であれば、無事終わりましたと言えるところでしょうが、トランプ大統領は敗北を認めず、選挙の不正の裁判を起こしているようです。かなり往生際が悪いという印象です。

そのトランプ大統領といえば、コロナの死亡率は1%以下だというような実際公表されている数字と違う発言、郵便投票では不正がまかり通るというような根拠のはっきりしない発言を続けてきました。友人同士の世間話で言うのなら害はありませんが、責任あるアメリカ大統領がする発言とは思えません。しかし、トランプ大統領の支持者たちは、その話を信じ込んでいるようにも見えます。

このような他人から見れば荒唐無稽と思えるような意見を信じてしまう危険性は、世界中にありますし、近年はSNSなどの発達により、より増しているように感じます。

私などは古い世代の人間ですので、新聞や書籍を読んだり、テレビニュースを観たりして情報を入手します。しかし、最近の風潮では、スマホ等によるネット検索やSNSを利用して情報を入手し、それを信じている人たちも多くいると聞きます。

SNSでわざわざ自分と意見の違う人とつながろうとは思わないでしょうし、最近の検索エンジンでは、利用者の興味のあるもの、心地よく感じるものを選んで、検索結果の上位に持ってくるような仕組みにしているようです。ネット検索、SNSだけで情報を得ようとすると、かなりフィルターのかかった自分に都合のよい情報のみを閲覧する危険性があるのです。

臨床研究においては、研究計画を立てるときに過去の同様の研究を参照し、行おうとする研究の研究自体そして研究対象、研究方法等の妥当性について検討しなければなりませんし、論文として投稿すれば必ず査読があります。筆者のみに都合の良い結果、考察は、査読者の目が入り、雑誌等に掲載するのに適切な形に訂正されます。第三者の意見も取り入れ、修正していくことによって、より良い論文となり、公表されるのです。

私たちの日常においても同じようなことを心がけて、自分の意見を持つことは大事ですが、それに対する反対意見にも興味を持ち聞くことにより、自分の意見を練り上げ、より成熟した意見としてまとめていけるのです。

そのような成熟した意見が初めて公に対して発言できる意見でしょう。自分の意見と違い気に入らないというだけで、SNSを炎上させ、最終的に自殺者を出すようなことが起きています。皆さんには自分の意見だけでなく、他人の意見も尊重し、練り上げた成熟した意見を発する訓練をしてほしいと思います。

